

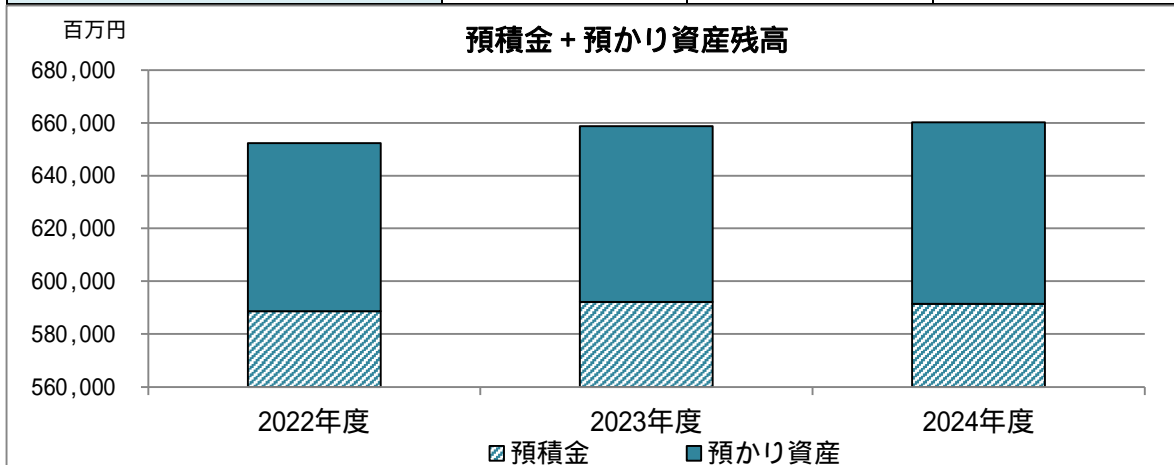
「お客様の資産形成および資産運用サポートに関する取組方針」に基づく取組状況

上記、「取組方針」に基づく、2024年度の取組状況をお知らせいたします。

1. 預積金と預かり資産の合計残高（期末残高）

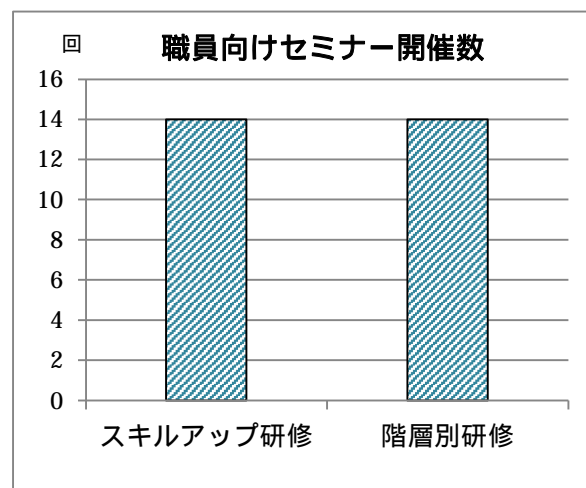
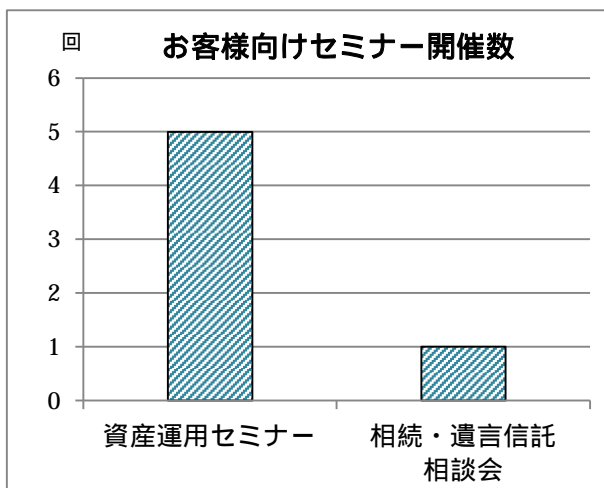
（単位：百万円）

	2022年度	2023年度	2024年度
要求払計	395,606	412,603	418,435
定期性計	193,027	179,607	173,050
預積金合計（A）	588,634	592,210	591,486
投資信託	14,839	16,248	16,489
公共債	5,172	5,097	6,664
保険商品	43,662	45,229	45,580
預かり資産合計（B）	63,674	66,574	68,734
預積金 + 預かり資産（A）+（B）	652,309	658,785	660,221



2. お客様向け・職員向けセミナー開催数

		回数
お客様向け	資産運用セミナー	5
	相続・遺言信託相談会	1
職員向け	スキルアップ研修	14
	階層別研修	14



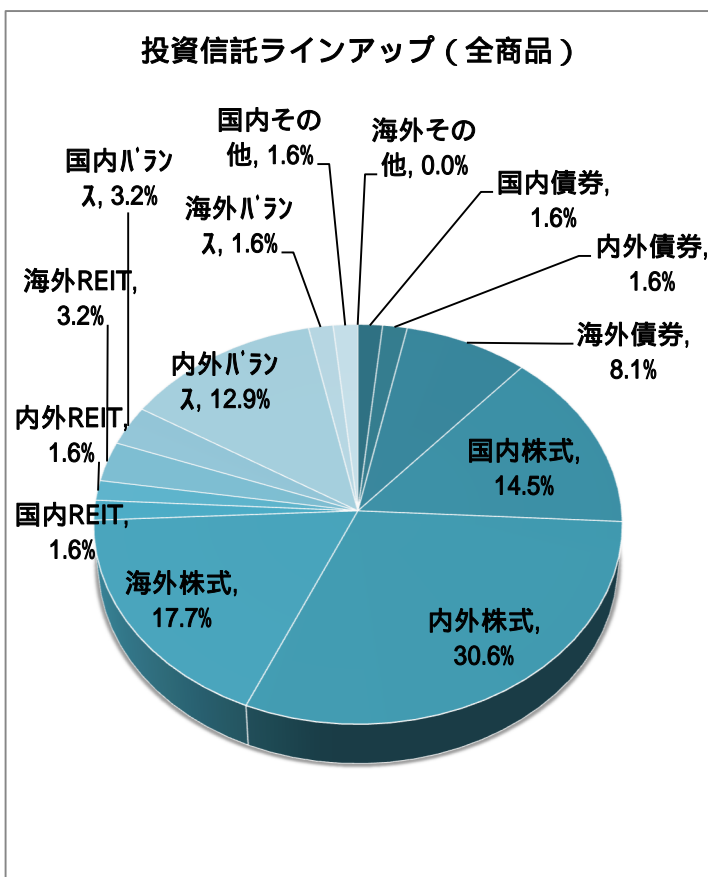
### 3. 商品ラインアップ

当金庫はリスク性金融商品の販売会社であり、組成には携わっていません。

#### (1) 投資信託（全商品）

主な投資対象	商品数	比率
国内債券	1	1.6%
内外債券	1	1.6%
海外債券	5	8.1%
国内株式	9	14.5%
内外株式	19	30.6%
海外株式	11	17.7%
国内 REIT	1	1.6%
内外 REIT	1	1.6%
海外 REIT	2	3.2%
国内バ`ランス	2	3.2%
内外バ`ランス	8	12.9%
海外バ`ランス	1	1.6%
国内その他	1	1.6%
海外その他	0	0.0%
総計	62	100.0%

複数コースある商品も1商品としてカウントしています。

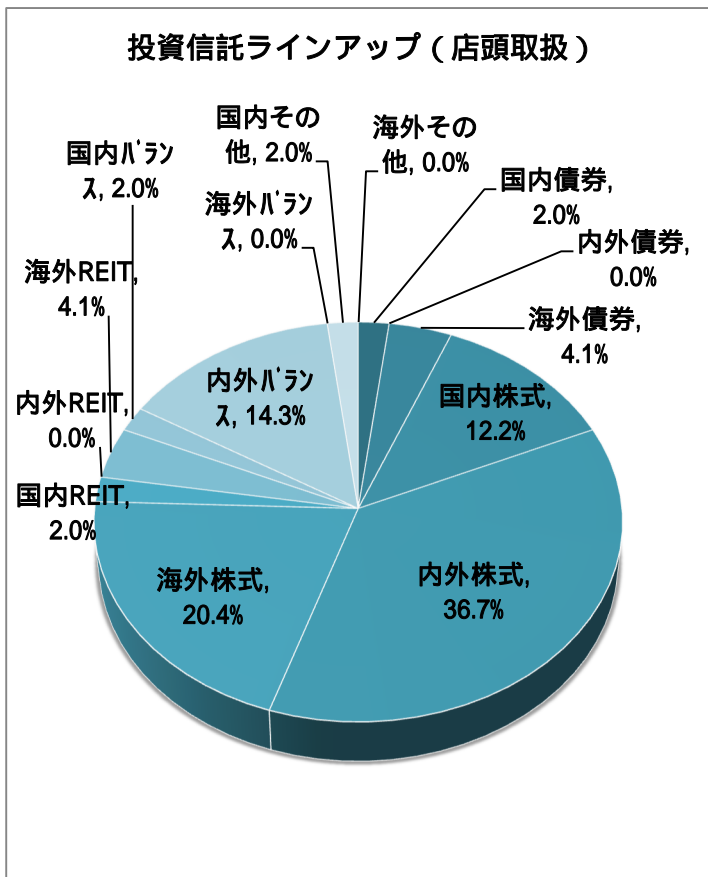


(2025年3月末現在)

#### (2) 投資信託（店頭取扱）

主な投資対象	商品数	比率
国内債券	1	2.0%
内外債券	0	0.0%
海外債券	2	4.1%
国内株式	6	12.2%
内外株式	18	36.7%
海外株式	10	20.4%
国内 REIT	1	2.0%
内外 REIT	0	0.0%
海外 REIT	2	4.1%
国内バ`ランス	1	2.0%
内外バ`ランス	7	14.3%
海外バ`ランス	0	0.0%
国内その他	1	2.0%
海外その他	0	0.0%
総計	49	100.0%

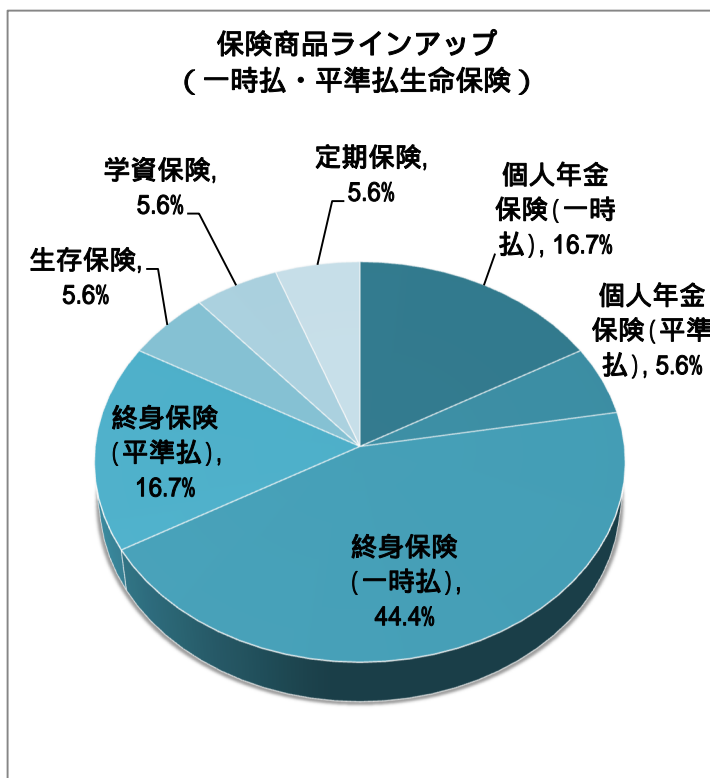
複数コースある商品も1商品としてカウントしています。



(2025年3月末現在)

(4) 保険商品（一時払・平準払生命保険）

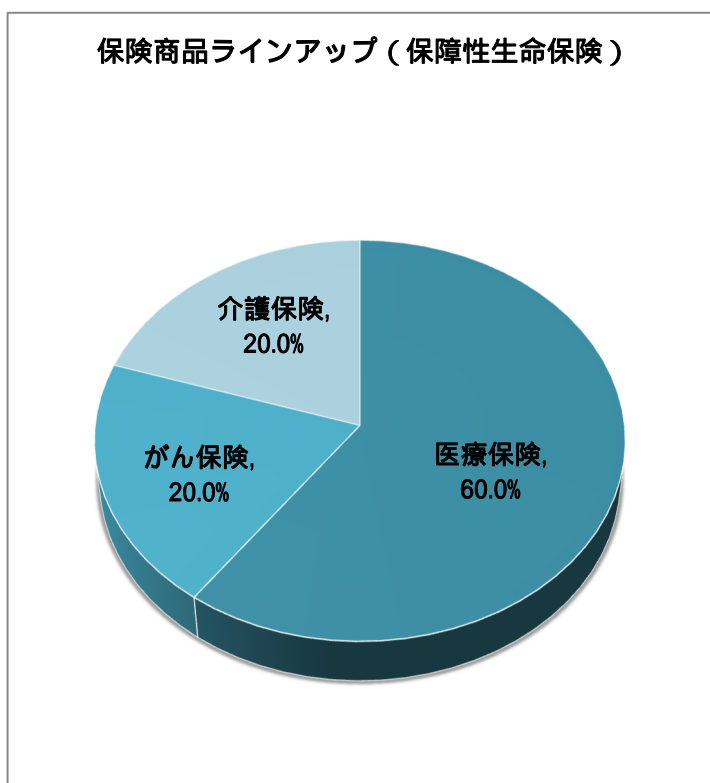
	商品数	比率
個人年金保険（一時払）	3	16.7%
個人年金保険（平準払）	1	5.6%
終身保険（一時払）	8	44.4%
終身保険（平準払）	3	16.7%
生存保険	1	5.6%
学資保険	1	5.6%
定期保険	1	5.6%
総計	18	100.0%



（2025年3月末現在）

(5) 保険商品（保障性生活保険）

	商品数	比率
医療保険	3	60.0%
がん保険	1	20.0%
介護保険	1	20.0%
総計	5	100.0%



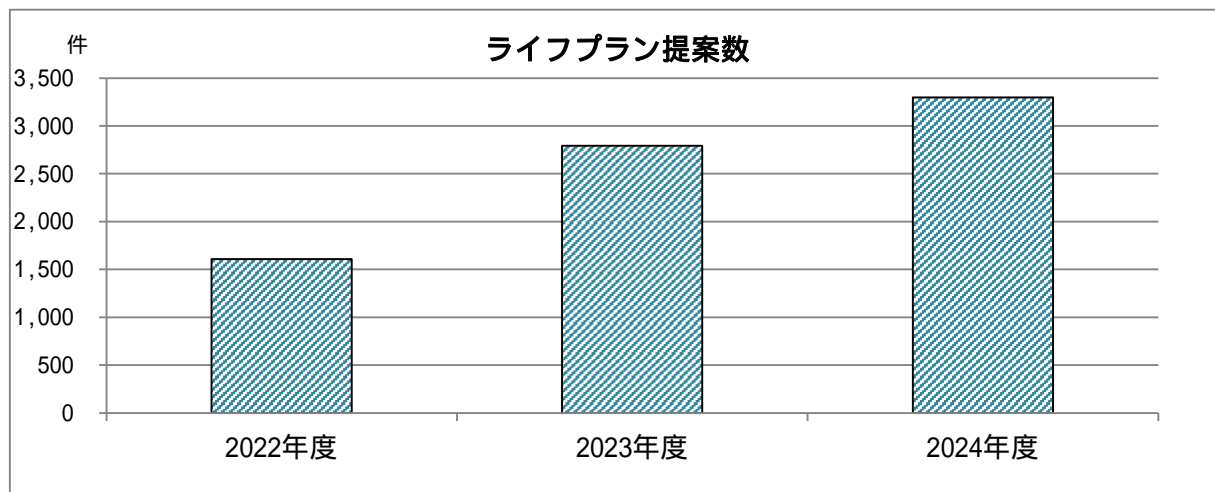
（2025年3月末現在）

#### 4. ライフプラン提案

預かり資産コンサルティング業務の発展のため、お客様の問題点・課題を解決するライフプラン提案を積極的におこなっています。

ライフプランの提案に際しては、金融商品の販売・サービスの提供等に係る重要な情報をお客様がご理解いただけるように、わかりやすい資料やタブレット端末等を活用し、お客様の投資のご意向に基づき、より良い提案を実施しています。

2022年度	2023年度	2024年度
1,609件	2,793件	3,296件



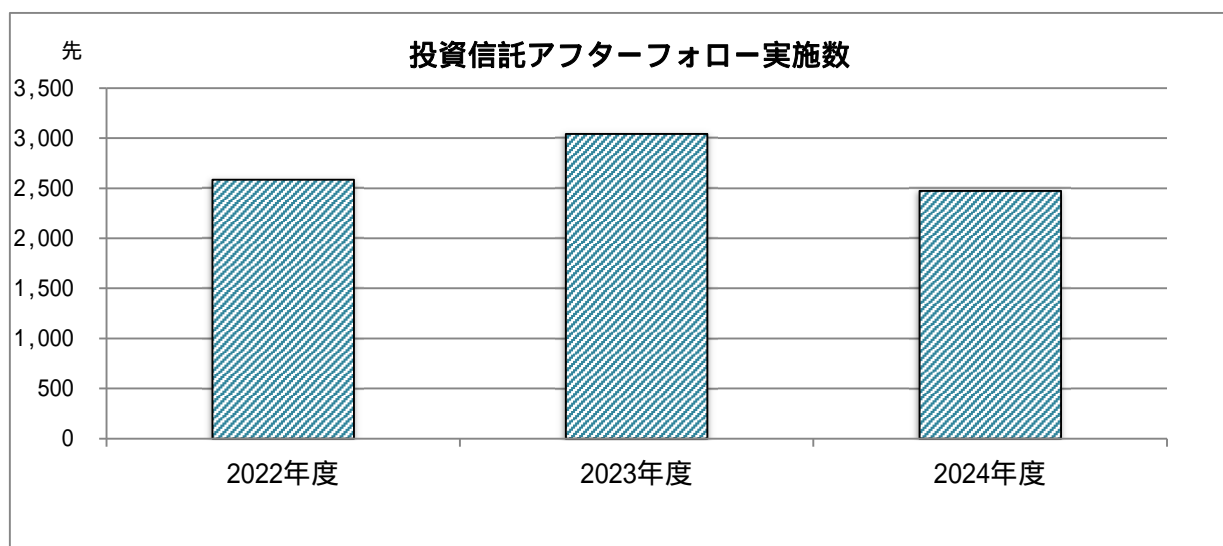
#### 5. 投資信託アフターフォロー

長期的な視点に配慮した適切なフォローアップをおこなうことを目的に、金庫の定めた一定の基準によりフォローが必要と認められるお客様に対して、年に一回アフターフォローを実施しています。

また、世界情勢の変化や突発的な市況の変化に伴い大きく基準価額が変動するような場合は、基準価額が当初下落時と比較して10%以上下落した等の際に、追加で臨時アフターフォローを実施しています。

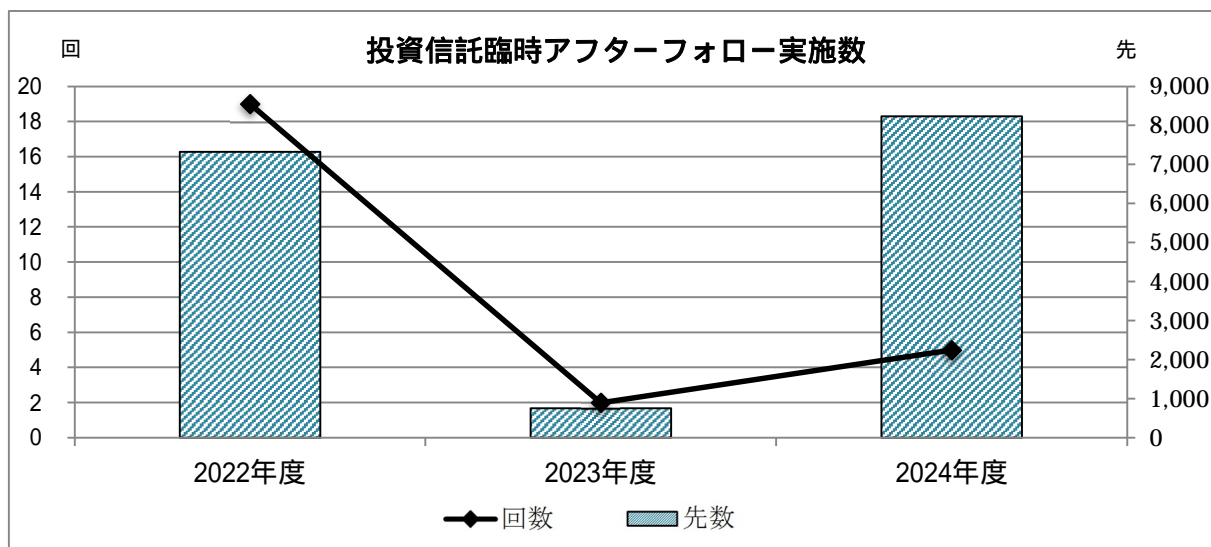
##### (1) 定例アフターフォロー

2022年度	2023年度	2024年度
2,586先	3,043先	2,476先



(2) 臨時アフターフォロー

2022 年度		2023 年度		2024 年度	
19 回	7,323 先	2 回	756 先	5 回	8,229 先

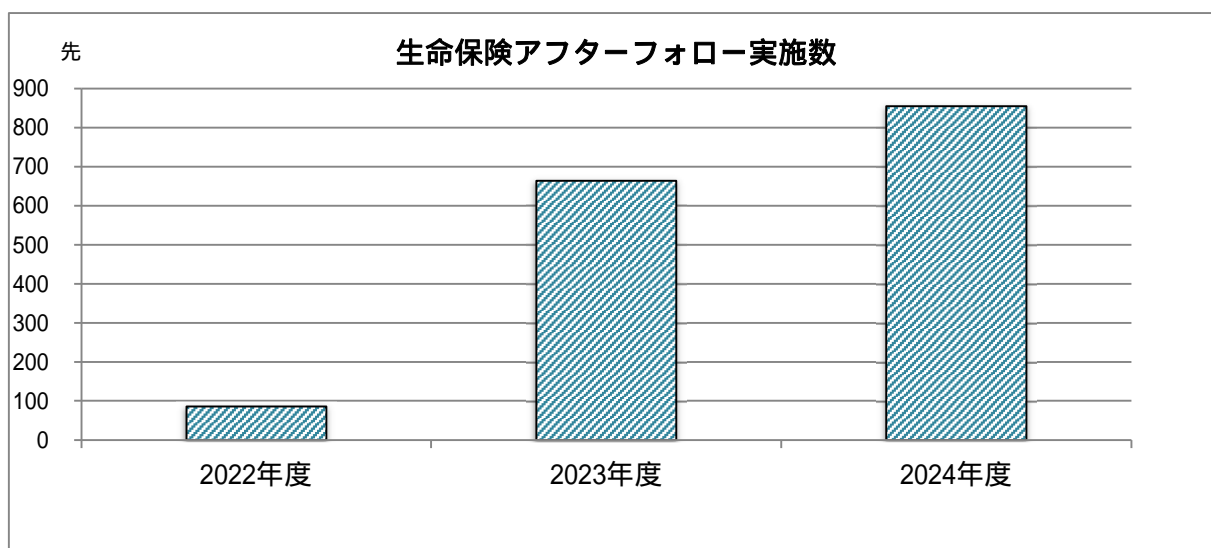


6. 生命保険アフターフォロー

長期的な視点に配慮した適切なフォローアップをおこなうことを目的に、金庫の定めた一定の基準によりフォローが必要と認められるお客様に対して、年に一回アフターフォローを実施しています。また、ターゲット機能付き外貨建一時払保険の販売・管理態勢の強化を目的に、ターゲット値を105%に設定した保険商品をお持ちのお客様に対し、商品性の再確認や契約時・現在の意向確認をおこなうため、臨時アフターフォローを実施しています。

(1) 定例アフターフォロー

2022 年度	2023 年度	2024 年度
86 先	664 先	855 先



(2) 臨時アフターフォロー

2024 年度	
1 回	1,207 先

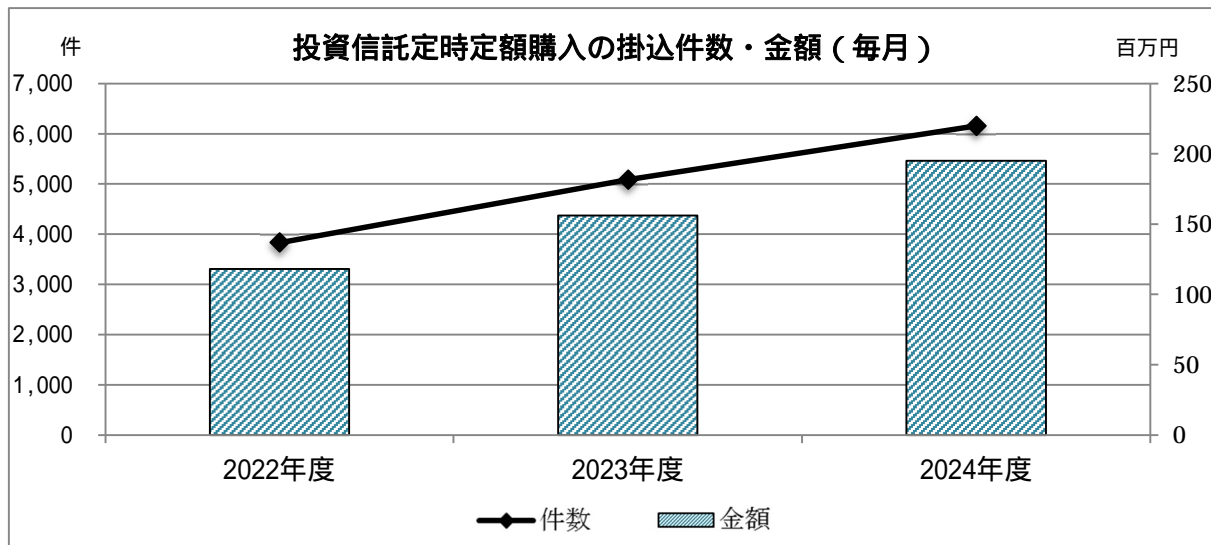
生命保険臨時アフターフォローは2024年度が初めての実施です。

## 7. 投資信託定時定額購入の掛込件数・金額（毎月）

お客様の生涯価値向上を目指し、夢の実現に向けた適切なライフプラン提案の実施を目的に、お客様のセカンドライフを充実するための資金準備など、ゴールを目指した資産運用の提案の1つとして、投資信託定時定額購入の提案を実施しています。

2022年度		2023年度		2024年度	
3,833件	118百万円	5,082件	156百万円	6,157件	195百万円

3月の掛込額実績



## 8. 具体的な活動

### 【 4 月 】

#### 2024年度個人業績評価制度の実施（4/1）

お客様の生涯価値向上の一助となることや、お客様の最善の利益を追求する活動を評価するため、「保険商品（第2分野）」を対象項目に追加、「共済」の評点を引き上げました。

また、お客様や同僚職員からの定性面の評価は継続的に個人業績評価制度に組み入れています。

#### 預かり資産契約先アフターフォローの実施（4/1）

長期的な視点に配慮した適切なフォローアップをおこなうことを目的に、預かり資産契約先にアフターフォローを実施しました。契約後のアフターフォローにより、契約内容に対する理解度を深めていただくとともに、今後の意向確認をおこないました。

#### 損害保険新商品の取扱開始（4/1）

お客様の多様なニーズにお応えするために、保険商品ラインアップ充実に向けて以下商品の取扱いを開始しました。

業務災害補償保険「ビジネスプラン」 保険会社：共栄火災海上保険株式会社

#### SDGs定期預金「おかやましんきん 未来へつなぐ2024」（4/1）

低金利時に合わせたお客様の最善の利益を追求するため、定期預金の新商品を取り扱いました。地域の皆様と一緒にSDGsに取り組むことで、「より魅力的でより住みよい街 岡山」の実現を目指すため、岡山市、倉敷市、玉野市の公表する「リサイクル率」について2022年度を基準として、2025年度の増減率によって3年もの定期預金に段階的に金利を上乗せして取り扱いました。また、預入額の0.1%相当（上限200万円）をSDGsに関する取組みをおこなっている当金庫取引先企業や学校、社会貢献団体ならびに個人のお客様に寄贈することとしました。

#### 職員向けスキルアップ研修の実施（4/13）

最新のマーケット状況の確認や、投資環境に関する知識・コンサルティング能力等の向上を目的として、「市況、NISA 成長投資枠の活用方法」などに関する研修を職員向けに実施しました。

#### 職員階層別研修の実施（4/15）

1年次職員を対象に、「ホスピタリティ」「資産運用」について研修を実施しました。「資産運用の必要性」を理解することを目的に、職員の知識・手法の統一を図りました。

## 【 5 月 】

### 職員向けスキルアップ研修の実施 (5/11)

お客様の課題を保険機能にて解決する知識の習得を目的として、「円建終身保険」に関する研修を職員向けに実施しました。

### 資産運用セミナーの開催 (内山下スクエア)(5/18)

お客様を対象に、生涯価値向上の一助となる活動をおこなうとともに、お客様のライフプランに合った情報を提供することを目的として、「足元の市況と今後の見通し～一喜一憂しない NY ダウ・5G 投資の魅力と NISA 成長投資枠の活用方法～」をテーマにセミナーを開催しました。

## 【 6 月 】

### 職員階層別研修の実施 (6/17)

預かり資産専担者を対象に、お客様の多様なニーズに応じた幅広い情報提供、投資環境や商品に関する知識・コンサルティング能力の向上、資産形成・運用における「お客さま本位の業務運営」の取組みを実践すること等を目的として「市況」「外貨建保険の販売とアフターフォロー」などの研修を実施しました。

### 職員向けスキルアップ研修の実施 (6/22)

お客様の課題を保険機能にて解決する知識の習得を目的として、「円建終身保険」に関する研修を職員向けに実施しました。

### 「お客様の資産形成および資産運用サポートに関する取組方針」取組状況の開示 (6/28)

お客様の最善の利益の追求を目的として当金庫が実践する「お客様の資産形成・資産運用をサポートに関する取組方針」および取組施策の進捗状況をホームページに公表しました。

当金庫内においても、お客様の最善の利益を考えた行動を職員に徹底し、コンサルティング業務をより発展させるために、職員向けに周知文書を発信しました。

## 【 7 月 】

### 投資信託新商品の取扱開始 (7/1)

お客様の多様なニーズにお応えするために、投資信託ラインアップ充実に向けて以下の複数の委託会社から商品を導入し取扱いを開始しました。なお、販売手数料は当金庫の定めより、コア商品：1.10%、インデックス商品：2.20%、その他商品：3.30%としています。

#### 世界経済インデックスファンド

委託会社：三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 販売手数料：2.20%

#### ハリス日本株ファンド (年4回決算型)

委託会社：朝日ライフアセットマネジメント株式会社 販売手数料：3.30%

#### のむラップ・ファンド (保守型/普通型/積極型)

委託会社：野村アセットマネジメント株式会社 販売手数料：1.10%

### おかやましんきん「ベストパートナー2024」の取扱開始 (7/1)

定期預金と投資信託の組み合わせによる「分散投資」と低金利時に合わせたお客様の最善の利益を追求するため、投資信託申込金額の範囲内で3ヵ月ものスーパー定期預金を 年利 4.0%、年利 5.0% (期間内に NISA 口座を開設いただいた場合) で取り扱いました。

### 職員向けスキルアップ研修の実施 (7/6、7/20)

7月1日から販売を開始した投資信託の具体的な商品内容や販売対象として想定するお客様に関して職員向けに研修を実施しました。

### 資産運用セミナーの開催 (内山下スクエア)(7/20)

お客様を対象に、生涯価値向上の一助となる活動をおこなうとともに、お客様のライフプランに合った情報を提供することを目的として、「豊かな老後を確実に準備するために、仕組みづくりを一緒に考えてみませんか？」をテーマにセミナーを開催しました。

## 【 8 月 】

### 職員階層別研修の実施（8/7）

新任の内部管理責任者を対象に、取引経験や金融知識を考慮した誠実な内容の情報提供や利益相反の適切な管理などを目的として、「金融商品取引に係る勧誘・販売ルール」、「内部管理責任者の1日の業務の流れ」、「預かり資産業務における各種検証方法」の研修を実施しました。

### 職員階層別研修の実施（8/8）

新任の代務者を対象に、取引経験や金融知識を考慮した誠実な内容の情報提供や利益相反の適切な管理などを目的として、「金融商品取引に係る勧誘・販売ルールについて」、「高齢者販売における勧誘・販売の注意点」の研修を実施しました。

### 職員階層別研修の実施（8/22）

営業責任者である支店長を対象に、お客様の最善の利益を追求するための公正な取扱いや利益相反の適切な管理などを目的として、「金融商品取引に係る勧誘・販売ルールについて」、「預かり資産業務に係る営業責任者の役割」、「高齢者販売における勧誘・販売の注意点」の研修を実施しました。

### 職員向けスキルアップ研修の実施（8/31）

確定拠出年金に関する知識・コンサルティング能力等の向上を目的として、「iDeCo、DCの基礎知識、提案、セールス方法」に関する研修を職員向けに実施しました。

## 【 9 月 】

### 職員階層別研修の実施（9/3）

内部管理責任者、預かり資産専担者を対象に、お客様の最善の利益を追求するための公正な取扱いや利益相反の適切な管理などを目的として、日本証券業協会の監査結果について、指摘事項および今後の対応に関する研修を実施しました。

### 職員階層別研修の実施（9/5、9/18）

法令等遵守責任者である支店長、預かり資産専担者などを対象に、お客様の最善の利益を追求するための公正な取扱いや利益相反の適切な管理などを目的として、「外貨建保険の販売・管理等態勢」に対する今後の対応についての研修を実施しました。

金融庁より「リスク性金融商品の販売・組成社会による顧客本位の業務運営に関するモニタリング結果」が公表され、ターゲット機能付外貨建一時払保険の販売・管理態勢について保険会社・販売会社への各種指摘事項が提起されました。

これを受け、生命保険協会の各種ガイドラインが改訂されたことから、販売会社である当金庫も適切な商品提案・販売、フォローアップをおこなうため、その対応についての研修を実施しました。

### 職員向けスキルアップ研修の実施（9/7）

最新のマーケット状況の確認や、投資環境に関する知識・コンサルティング能力等の向上を目的として、「市況、アフターフォロー」などに関する研修を職員向けに実施しました。

### 資産運用セミナーの開催（内山下スクエア）（9/21）

お客様を対象に、生涯価値向上の一助となる活動をおこなうことを目的として、「ふるさと納税と医療費控除 税理士に聞く賢い家計管理」をテーマに税理士法人と連携しセミナーを開催しました。

## 【 10 月 】

### 重要情報シート（保険個別商品編）取扱開始（10/1）

お客様に、簡素に分かりやすく商品のリスクや手数料等の情報を提供し、金融商品の比較を容易にするために、従来、重要情報シート「金融事業者編」、「個別商品編」（当金庫の投資信託店頭取扱の全商品）を取り扱っていましたが、当金庫が販売する外貨建保険全商品の重要情報シートについても取扱いを開始しました。

### 外貨建保険の説明資料・帳票改定、フォローアップの実施（10/1）

金融庁より公表、提起された「外貨建保険の販売・管理等態勢」における各種指摘事項に対し当金庫の具体的な対応として、外貨建保険販売時、フォローアップ時の資料・帳票の新設、改

定をおこない、販売時やフォローアップ時のお客様への説明方法等の対応について職員に対して周知をおこないました。

また、ターゲット機能付外貨建保険保有先のうち、一定条件にあてはまるお客様に対してフォローアップを実施しました。

#### **職員向けスキルアップ研修の実施（10/12）**

お客様の最善の利益を図る提案をおこなうための知識習得を目的として、「遺言信託・身元保証サービス・エンディングサポート」に関する研修を職員向けに実施しました。

#### **職員階層別研修の実施（10/23）**

東京証券取引所の取引時間延伸を受け、当金庫でもお客様の利便性向上や取引機会損失防止のため、11月5日より投資信託の買付・売却等における申込時間の延伸をおこなうこととしたため、法令等遵守責任者である支店長、預かり資産専担者などを対象に研修を実施しました。

#### **各種セミナー・個別相談のWEB予約開始（10/25）**

お客様の利便性向上を図ることを目的として、預かり資産における各種セミナー、および個別相談の予約申込を、当金庫ホームページから予約して頂けるようにしました。

### **【 11 月 】**

#### **職員階層別研修の実施（11/5）**

法令等遵守責任者である支店長を対象に、お客様の最善の利益を追求するための公正な取扱いや利益相反の適切な管理などを目的として「法令等遵守責任者の責務」に関する研修を実施しました。

#### **投資信託の申込時間延伸の実施（11/5）**

東京証券取引所の取引時間延伸を受け、当金庫でもお客様の利便性向上や取引機会損失防止のため、投資信託の買付・売却等における申込時間の延伸をおこないました。

#### **ニーズ喚起資料の導入と改定（11/5）**

外貨建保険の販売・管理等態勢強化に向け、「預かり資産」提案時に活用するニーズ喚起資料の導入と既存資料の改定をおこないました。

#### **資産運用セミナーの開催（内山下スクエア）（11/9）**

お客様を対象に、生涯価値向上の一助となる活動をおこなうことを目的として、「グローバルマーケットについて～米国大統領選挙後の展望～」に関する研修を実施しました。

#### **職員向けスキルアップ研修の実施（11/9）**

最新のマーケット状況の確認や、投資環境に関する知識・コンサルティング能力等の向上を目的として、「市況と見通し、アフターフォローについて」に関する研修を職員向けに実施しました。

#### **相続・遺言信託相談会の開催（内山下スクエア）（11/15）**

お客様を対象に、お客様が抱えている課題や問題に対し、解決に繋がる情報提供をおこなうことを目的として、「遺言・相続全国一斉相談会」を外部機関と連携し開催しました。

#### **職員階層別研修の実施（11/19）**

法令等遵守責任者である支店長、預かり資産専担者などを対象に、「生命保険新規契約時のフロー・注意点」、「ターゲット機能付外貨建保険の契約後フォローアップに関する Q&A」に関する研修を実施しました。

### **【 12 月 】**

#### **「おかやましんきんファジアーノ岡山応援定期 2025SEASON」（12/2）**

地域の皆様のご愛顧に感謝の気持ちを込め、また、オフィシャルスポンサーとしてファジアーノ岡山を応援するために1年もの定期預金に金利を上乗せして取り扱いました。

#### **投資信託新商品の取扱開始（12/2）**

お客様の多様なニーズにお応えするために、投資信託ラインアップ充実に向けて以下の複数の委託会社から商品を導入し取扱いを開始しました。なお、販売手数料は当金庫の定めより、コア商品：1.10%、インデックス商品：2.20%、その他商品：3.30%としています。

半導体関連 世界株式戦略ファンド（愛称：半導体革命）

委託会社：三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 販売手数料：3.30%

三菱UFJ純金ファンド（愛称：ファインゴールド）

委託会社：三菱UFJアセットマネジメント株式会社 販売手数料：1.10%

eMAXIS 全世界株式インデックス

委託会社：三菱UFJアセットマネジメント株式会社 販売手数料：なし

当商品は、インデックス商品に分類されるため、当金庫の定めでは販売手数料は2.20%となりますが、委託会社の定めにより販売手数料はいただきません。

#### **職員向けスキルアップ研修の実施（12/14）**

最新のマーケット状況の確認や、投資環境に関する知識・コンサルティング能力等の向上を目的として「市況と見通し」、12/2 から販売を開始した投資信託の具体的な商品内容や販売対象として想定するお客様に関して職員向けに研修を実施しました。

### **【 1 月 】**

#### **退職金専用定期預金「おかやましんきんプレミアム」の改定（1/6）**

お客様の最善の利益を追求するため、退職金専用定期預金の商品内容を改定しました。お預け入れの際に条件を設定し、6 か月ものの定期預金を条件により金利を上乗せして取り扱いました。当商品は、初回満期到来後さらに6 か月ものへ書換を可能とし、条件により金利を上乗せして取り扱いました。

#### **職員向けスキルアップ研修の実施（1/18）**

最新のマーケット状況の確認や、投資環境に関する知識・コンサルティング能力等の向上を目的として「市況と見通し」、12/2 から販売を開始した投資信託の具体的な商品内容や販売対象として想定するお客様に関して職員向けに研修を実施しました。

#### **資産運用セミナーの開催（内山下スクエア）（1/18）**

お客様を対象に、生涯価値向上の一助となる活動をおこなうことを目的として、「これからどうなる！？2025年世界の投資環境」をテーマにセミナーを開催しました。

#### **職員階層別研修の実施（1/23）**

預かり資産専担者を対象に、お客様の多様なニーズに応じた幅広い情報提供、投資環境や商品に関する知識・コンサルティング能力の向上、資産形成・運用における「お客さま本位の業務運営」の取組みを実践すること等を目的として「足元のマーケット環境と今後の見通し」、「ニーズを掴んだ生命保険の提案」、「預かり資産に関する今後の動き」などの研修を実施しました。

#### **職員向けスキルアップ研修の実施（1/25）**

最新のマーケット状況の確認や、投資環境に関する知識・コンサルティング能力等の向上を目的として、当金庫取扱いファンドの「足元の状況と今後の見通し」についての研修を職員向けにおこないました。

### **【 2 月 】**

#### **職員階層別研修の実施（2/5）**

営業責任者である支店長を対象に、お客様の最善の利益を追求するための公正な取扱いや利益相反の適切な管理などを目的として「営業責任者に求められるコンプライアンス」、「最近の監査結果事例から見た内部管理のチェックポイント」などの研修を実施しました。

#### **職員向けスキルアップ研修の実施（2/22）**

最新のマーケット状況の確認や、投資環境に関する知識・コンサルティング能力等の向上を目的として、「市況と見通し」、当金庫取扱いファンドの「ファンドの現状と見通し」についての研修を職員向けにおこないました。

## 【 3 月 】

### 職員階層別研修の実施 (3/11)

内部管理責任者を対象に、お客様の最善の利益を追求するための公正な取扱いや利益相反の適切な管理などを目的に「内部管理責任者の責務」、「証券事故、不祥事件」などに関する研修を実施しました。

### 職員向けスキルアップ研修の実施 (3/22)

お客様の課題を保険機能にて解決する知識の習得を目的として、「円建・外貨建終身保険」に関する研修を職員向けに実施しました。

### ファンド収益の一部を寄付 (3/31)

グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)を通じて得られる収益の一部を、21世紀メディカル研究所が招集する「ゲノムファンド活用プログラム」によって決定された寄付候補先へ寄付しました。

脱炭素テクノロジー株式ファンドを通じて得られる収益の一部を、植樹プロジェクトとして認定NPO団体に寄付しました。

### 重要情報シートの継続的な取扱い (3/31)

お客様に、簡素に分かりやすく商品のリスクや手数料等の情報を提供し、金融商品の比較を容易にするために、重要情報シート「金融事業者編」「個別商品編」の2種類の資料を取り扱っています。2025年3月末時点において、当金庫の投資信託店頭取扱の全商品と外貨建保険全商品について重要情報シートをご用意しています。

### 金融庁の「プロダクトガバナンスに関する原則」への対応 (3/31)

当金庫はリスク性金融商品の販売会社であり、組成には携わっていないため、金融庁が組成会社向けに策定している「プロダクトガバナンスに関する補充原則」は採択していません。

販売会社に求められる対応として、製販全体としてお客様の「最善の利益」を実現するために、実際に購入した顧客層や反応等について組成会社(投資運用会社や保険会社等)と連携するように努めます。

また、取扱商品の選定にあたっては、商品のリスク等の特性に応じて組成会社(投資運用会社や保険会社等)のプロダクトガバナンスへの取組み等も考慮した上で、お客様の不利益にならないように選定するように努めます。

以上